

コハナヤスリ	<i>Ophioglossum thermale</i> Kom. var. <i>nipponicum</i> (Miyabe et Kudô) M.Nishida	絶滅危惧 I 類
		ハナヤスリ科
選定理由	生育地が人の生活領域に含まれているため、環境の変化による種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(村長昭義) 
形態の特徴	栄養葉の柄は基部が次第に細くなり柄は不明瞭。栄養葉の幅のもっとも広いのは中央部より下部。	
生態的特徴	やや乾燥した草地などに生育する夏緑性のシダ。	
分布状況	本州・四国・九州に分布する。岐阜県では県南部に分布するが生育地は少ない。	
減少要因	開発および周辺植物の繁茂など植生環境の変化。	
保全対策	草刈りや周辺樹木の除伐など、生育地の自然環境を維持する活動。	
特記事項	生育時期が限られるうえ目立たない種でもあるため、詳細な調査の積み重ねにより新たな生育地が発見される可能性もある。	
参考文献		

文責: 村瀬正成